

— 地震大国日本、被害状況の歴史を総覧 —

地震・噴火 災害全史

〈シリーズ 災害・事故史 2〉

古代から2007年までに発生した、
日本の地震・噴火1,847件の記録と解説

災害情報センター,日外アソシエーツ 共編 A5・400頁 定価(本体9,333円+税) ISBN978-4-8169-2089-9 2008年2月刊行

■明治以降の140年間だけで、地震による直接の死者は16万人にもおよぶと言われている地震大国日本において、過去の災害の貴重な教訓を生かすために、災害情報センターとの共編で編纂された日本の地震・噴火災害の記録事典です。

■「第Ⅰ部 大災害の系譜」「第Ⅱ部 地震・噴火災害一覧」「地震一震源地とマグニチュード一覧」の3部構成。

第Ⅰ部では、明治以降の大災害55件を取り上げ、事実経過・被害状況と関連情報を詳細に解説。

第Ⅱ部は、古代からの記録に残る日本の地震・噴火災害1,847件を年表形式(簡略な解説付き)で記載。

第Ⅲ部では、各地震の震源地とマグニチュードの一覧、参考文献を掲載。

特定非営利法人 災害情報センター

早稲田大学に拠点をもつNPO法人。事故・災害事例約13万件、関連文献約60万件をデータベース化し、インターネットで提供。月刊災害情報、災害・事故事例事典などを発行。注目される事故・災害が発生した場合には、過去に発生した同種の事例をWebサイトに速報的に掲載。(http://www.adic.waseda.ac.jp/)
災害に関する研究会やシンポジウムなどを適宜開催するとともに、防災計画作成、安全性評価などのコンサルティング事業も行っている。

《第Ⅰ部 収録の災害例》	
磐梯山噴火	1888年(明治21)
濃尾地震	1891年(明治24)
東京湾北部地震	1894年(明治27)
庄内地震	1894年(明治27)
明治三陸地震津波	1896年(明治29)
陸羽地震	1896年(明治29)
姉川地震	1909年(明治42)
桜島噴火	1914年(大正 3)
関東大震災	1923年(大正12)
北但馬地震	1925年(大正14)
三陸地震津波	1933年(昭和 8)
鳥取地震	1943年(昭和18)
東南海地震	1944年(昭和19)
福井地震	1948年(昭和23)
十勝沖地震	1952年(昭和27)
阿蘇山中岳大爆発	1958年(昭和33)
チリ地震津波	1960年(昭和35)
新潟地震	1964年(昭和39)
根室半島沖地震	1973年(昭和48)
宮城県沖地震	1978年(昭和53)
浦河沖地震	1982年(昭和57)
日本海中部地震	1983年(昭和58)
雲仙・普賢岳火砕流発生	1991年(平成 3)
北海道南西沖地震	1993年(平成 5)
阪神・淡路大震災	1995年(平成 7)
三宅島噴火	2000年(平成12)
新潟県中越沖地震	2007年(平成19)
…など55件	

201703

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局** TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 http://www.nichigai.co.jp/

■貴店名	地震・噴火災害全史 〈シリーズ 災害・事故史 2〉		冊
	定価(本体9,333円+税) ISBN978-4-8169-2089-9		
注文書	■お名前		

CASE
40

北海道南西沖地震

date 1993年(平成5年)7月12日

scene 北海道南西沖

地震の背景

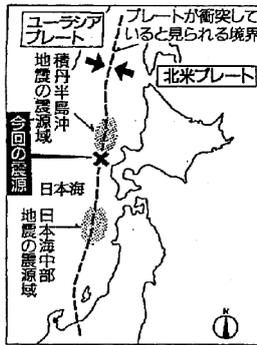
北海道の南の沖からカムチャツカまで2,500kmにもわたって延びる千島海溝は地震活動が活発な海溝で、いわゆるユーラシアプレートと北海道をのせた北米プレートが接していると考えられており、そこから地球の奥深くに潜り込んでいくプレートは、東西圧縮によって逆断層運動を起こし易い。北海道はこのようなプレート境界型の海底大地震のほかにも陸直下型地震、火山性地震、群発地震などあらゆる種類の地震が起きる「地震のデパート」と言われている。

18世紀以降、このプレート境界で発生した地震は、

- 1741年 渡島大島付近
- 1833年 庄内沖
- 1940年 積丹半島沖
- 1964年 新潟地震
- 1983年 日本海中部地震と挙げられる。

発端と地震の概要

1993年(平成5年)7月12日22時17分ごろ、北海道南西沖を震源とする大きな地震が発生した。気象庁の発表では、この地震



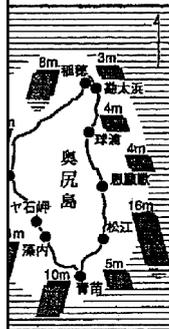
の震源は北緯42度47分、東経139度12分、深さ34kmであり、マグニチュードは7.8であった。これは、同年1月15日に発生した釧路沖と同規模であり、関東大震災に匹敵する地震であった。

震度は、震度5が、江差、小樽、深浦、震度4が、倶知安、むつ、震度3が、岩見沢、羽幌、雄武、震度2が、新庄であった。

この地震に伴い、札幌管区気象台は地震発生5分後の22時22分に津波予報区3区(北海道の日本海沿岸)に「オオツナミ」の津波警報、2区(北海道の太平洋沿岸)に「ツナミ」の津波警報、1区(北海道のオホーツク海沿岸)に「ツナミチュウイ」の津波注意報を発表した。

象庁はこの地震を「平成5年北海道南西沖地震」と命名、1に加え、はじめて年間2度の

津波により、奥尻島をはじめ大町郡などの北海道西部の日大きな被害をこうむった。これがはじめてではなかった。3年5月26日におきた、日本(000p参照)にも、今回もつかなかった奥尻島青苗地区が、死者60棟と被害を出している。より、この地震の直後に、「津波人は多かったが、今回の津波は速さ、あたかも新幹線並みに直撃した(時速500kmと推測)りでは、揺れから3~5分後



奥尻島を襲った津波の高さ

には、5~10mを越える津波が港南部から、さらに港東部からも襲ってきて、丘の斜面を這い上がってきた、という証言が多かった。

以下のような住民の行動が生死を分けた。

- 1) 自分で津波を直感、あるいは他人に言われて、とるものもとりあえず、真っ先に高台に避難した。
- 2) 避難しなかった、あるいはできなかった、避難が遅れた。
- 3) 歩いて避難したり、遅れて車で避難した。
- 4) いったん避難したのに再び戻った。

死者は、2)のケースががもっとも多く、これは、高齢や身体障害、津波を予想しなかった、予想したが、あまりに速かった、家族を助けようとして避難が遅れた、などが理由として挙げられる。

【火災の被害】

地震発生から18分後の11時35分頃、青苗地区東側の津波に流されなかった地域で原因不明の火災が発生した。出火点付近は無人状態に近く初期消火が行われなかったこと、さらに津波による瓦礫散乱で消防車が稼働できなくなったこと、消防用の水が確保できなかったこと、折からの風に煽られた等により被害を大きくした。

11時間にわたって燃え続けた火災は、消火棟数189、延焼範囲51,000㎡、消失床面積19,000㎡、罹災世帯108、罹災者311人という市街地火災の惨状を呈した。

死者・行方不明者は、231人にのぼり、これは1948年に起きた福井地震(死者3,769人)以後の45年間で最高のものであった。

keyword キーワード

「第I部」は55件の大災害を詳説

事実経過・被害状況とともに慰霊碑や参考図書も記載

年表形式の「第II部」

日本書紀に記録が残る416年の地震から2007年まで1,847件

船橋、浦安などで震度5弱を記録した。
●負傷者39名

1734 地震 2005年(平成17)8月16日
宮城県、福島県、岩手県、埼玉県
第I部解説参照
●負傷者91名

1735 地震 2005年(平成17)8月21日
新潟県、長野県
8月21日午前11時29分ごろ、新潟県中越地方を震源とする地震があった。マグニチュード5.0。深さは17km。長岡市で震度5強、小千谷市で震度5弱などを記録した。余震発生。
●負傷者2名

1736 地震 2005年(平成17)10月16日
茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
10月16日午後4時5分ごろ、茨城県南部を震源とする地震があった。マグニチュード5.1。深さは約40km。古河市、埼玉県さいたま市、千葉県野田市、東京都杉並区、神奈川県横浜市などで震度4を記録した。
●負傷者2名

1737 地震 2005年(平成17)10月19日
茨城県、福島県、栃木県、千葉県
10月19日午後8時44分ごろ、茨城県沖を震源とする地震があった。マグニチュード6.3。

1738 地震 2005年(平成17)12月17日
宮城県、岩手県
12月17日午前3時32分ごろ、宮城県沖を震源とする地震があった。マグニチュード6.2。深さは約50km。石巻市、岩手県陸前高田市などで震度4を記録した。通信回線の障害が原因で、気象庁で震度計30地点のデータに誤りがあった。
●負傷者2名

1739 地震 2006年(平成18)4月21日
東京都、神奈川県、静岡県
4月21日午前2時50分ごろ、伊豆半島東方沖を震源とする地震があった。マグニチュード5.4。深さは約7km。伊豆大島町、利島村、小田原、真鶴、熱海、伊東、下田、伊豆などで震度4を記録した。17日から地震多発、無感地震多数があった。
●負傷者3名

1740 地震 2006年(平成18)6月12日
大分県、愛媛県、広島県、山口県
6月12日午前5時1分ごろ、大分県中部を震源とする地震があった。マグニチュード6.2。深さは約146km。大分・佐伯、愛媛・今治、八幡浜、伊方、西予、広島・呉で震度5弱などを記録した。
●負傷者8名

1741 地震 2006年(平成18)11月15日
ロシア、太平洋